

## 第1回（平成26年6月期）番組審議会議事録

1. 開催日時 2014年6月25日（水）17:00～18:00
2. 開催場所 弊社会議室
3. 委員の出席  
委員総数 8名  
出席委員 7名 正岡健二・山本幸男・木辻清子・為岡務・宮川清・中村忠司・高木邦子  
欠席委員 1名 増田匡  
放送事業者側出席者 金千秋・日比野純一・平野由美子

### 4. 議事

- 4-1. 委員就任承諾へのお礼
- 4-2. 各委員の紹介
- 4-3. 今年度委員長の選出 出席委員の合議の上、為岡務氏を選出
- 4-4. 番組審議

第1回審議番組「Selamat Malam dari Indonesia -インドネシアから今晚は！-」（30分）

5月7日（水）23:00～23:30 放送

パーソナリティ：日比野純一（FMわいわい）

ゲスト：橋爪明日香さん

この番組は、2013年5月から放送開始されたトーク番組で、毎月第1週目にオリジナル放送、その他の週は同じ内容を再放送している。パーソナリティの日比野さんが担当しているFMわいわいのインドネシア事業が主なテーマである。

インドネシア事業は、日本で培ったコミュニティラジオが災害時に地域の中で果たす役割の活動実績を下に、火山噴火などの自然災害が多発するインドネシアで地域社会の防災力向上活動について、現地のパートナー団体と共にコミュニティ防災モデルを構築することを目的としたJICA草の根技術協力事業である。

### 5. 議事の概要

番組の基本コンセプトの説明後、審議を行う。

### 6. 審議内容

#### 6-1. 欠席者の審議紹介

##### 【増田匡委員】

- ・ パーソナリティ、ゲスト共に話し方、声が聴きやすくとても心地良かった。
- ・ インドネシアの災害は東北大震災と異なり、音・声だけでは現地の情景がイメージしにくいと感じた。ホームページでの活動レポートも、番組内でもっとPRしたら良いのではないか。
- ・ インドネシアの現地の人の声も聴けると臨場感があって良いと思う。

#### 6-2. 出席者の審議

##### 【木辻清子委員】

- ・ 番組の始めは日比野さんの声がこもって聴こえたが、橋爪さんのしゃべりはハキハキとしていて二人のやり取りがしっかりしていた。
- ・ インドネシアについて知識がなかったが、たくさんの人に防災についてわかってもらうには情報を発信し続けることが大事だと感じた。
- ・ 挿入曲は日本の演歌のようで耳馴染みが良かった。

##### 【高木邦子委員】

- ・ 木辻委員と同じで、挿入曲は癒される音楽だった。

- ・ 二人とも落ち着いた声でゆったりと聴くことができた。
- ・ 橋爪さんが楽しそうに話しているのを聴いて、良い映像ができることを期待している。完成したら是非見たい。

【山本幸男委員】

- ・ さわやかな口調で聴きやすかった。
- ・ 音楽のボリュームが大きかった。

【中村忠司委員】

- ・ 山本委員と同じで、曲の出だしが大きく感じられた。
- ・ しかし、音楽は落ち着いた曲でよかった。選曲の理由など詳しい説明が欲しかった。
- ・ 聴き手、話し手の二人の関係性が良かった。

【正岡健二委員】

- ・ 構成が良い。日比野さんはコーディネート役として番組全体を把握しており、話の引き出しが上手かったので、リスナーは安心して聴けたのではないかと。引き出す側の良し悪しで番組が変わる。
- ・ 30分番組である挿入曲は長かった。注釈があれば納得して聴いてしまうが…。被災直後は歌詞よりもまずメロディが耳に入り、現実を受け入れられた時に歌詞の意味に気が付く

【宮川清委員】

- ・ 聴きやすい番組であった。二人だけで会話しているのではなく、リスナーを意識したトークになっていた。
- ・ 歌詞の意味がわかったら良かった。

【為岡務委員長】

- ・ インドネシアの現場で実際に体験しているからこそ伝えられる内容であったと思う。
- ・ 日比野さんの声を久しぶりに聴いた。元気そうで安心した。
- ・ ラジオは何かをしながら聴けるのが良いと改めて感じた。きちんとした番組を作って欲しい。

【番組担当者：日比野純一】

- ・ 挿入曲は火山噴火があった地元のミュージシャンが作った曲で、被災地の地区の名前を言っている歌詞である。コミュニティらしい曲で現地でとても聴かれており、避難所にいる人たちに届けたいという思いが込められていたようだ。
- ・ 今回は日本で収録したものであったが、インドネシアで番組を作る時は現地スタッフやパートナー団体のメンバーにも出演してもらっている。

【放送事業者側出席者：金千秋】

- ・ 今年度もご協力くださいますようどうぞよろしくお願いいたします。

- 審議機関の答申または改善意見に対して採った措置及びその年月日  
担当者が同席していたのでその場で意見交換した。
- 審議機関の答申または意見を公表した場合における公表内容、方法、年月日  
公表内容…議事の内容  
公表方法…自社放送（平成25年7月12日12:00～13:55の番組内で放送予定）  
事務所に議事録の備置き（平成25年7月8日）  
ホームページに掲載 <http://www.tcc117.org/fmyy/index.php?c1=13-98>
- その他参考事項  
特になし

以上